

特別企画: 北海道内企業の社長年齢分析**社長の平均年齢は 61.1 歳、全国平均を 0.8 歳上回る
～「60 歳以上」の社長構成比は 1990 年と比べて 24.7 ポイント増加～****はじめに**

内閣府の発表した『令和3年版高齢社会白書』によると「日本の高齢化率は世界で最も高い」とされている。また2022年以降は団塊の世代が後期高齢者となり、事業承継の課題が一段と深刻になるといわれる「2025年問題」まで残り3年となるなど、高齢化の問題は日本社会に重くのしかかり、今後さまざまな影響が懸念されている。

帝国データバンク札幌支店は、2021年12月時点の企業情報ファイル「COSMOS2」（約147万社収録）から北海道に本社を置く約4万6000社の企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

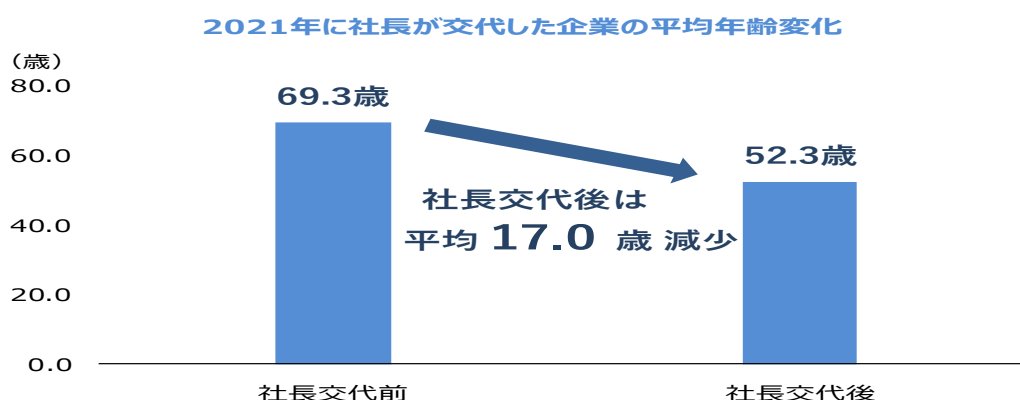
調査結果（要旨）

1. 社長の平均年齢は、61.1歳（前年比+0.2歳）となり、過去最高を更新した。全国平均（60.3歳）を0.8歳上回る
2. 社長の年代別構成をみると、「60歳以上」が全体の56.5%を占め、1990年と比べて24.7ポイントの増加となった
3. 業種別に社長の平均年齢をみると、「不動産業」が62.9歳で最も高く、一方、平均年齢が最も低いのは「サービス業」の60.2歳となった
4. 年商規模別に社長の平均年齢をみると、「1億円未満」と「500億円以上」が62.1歳で最も高く、「1億円未満」では他の年商規模に比べ70代（24.9%）と80歳以上（5.5%）の割合が高くなっている

1. 社長の平均年齢 ～2021年は61.1歳、90年以來一貫して上昇が続く

2021年の道内社長の平均年齢は前年（2020年）から0.2歳上昇、61.1歳となり過去最高を更新した。全国平均（60.3歳）と比較すると、0.8歳上回った。90年の54.3歳から31年間にわたり一貫して上昇、この間、社長の平均年齢は6.8歳進んだ。また、2000年（56.9歳）と比較しても4.2歳進む形となった。

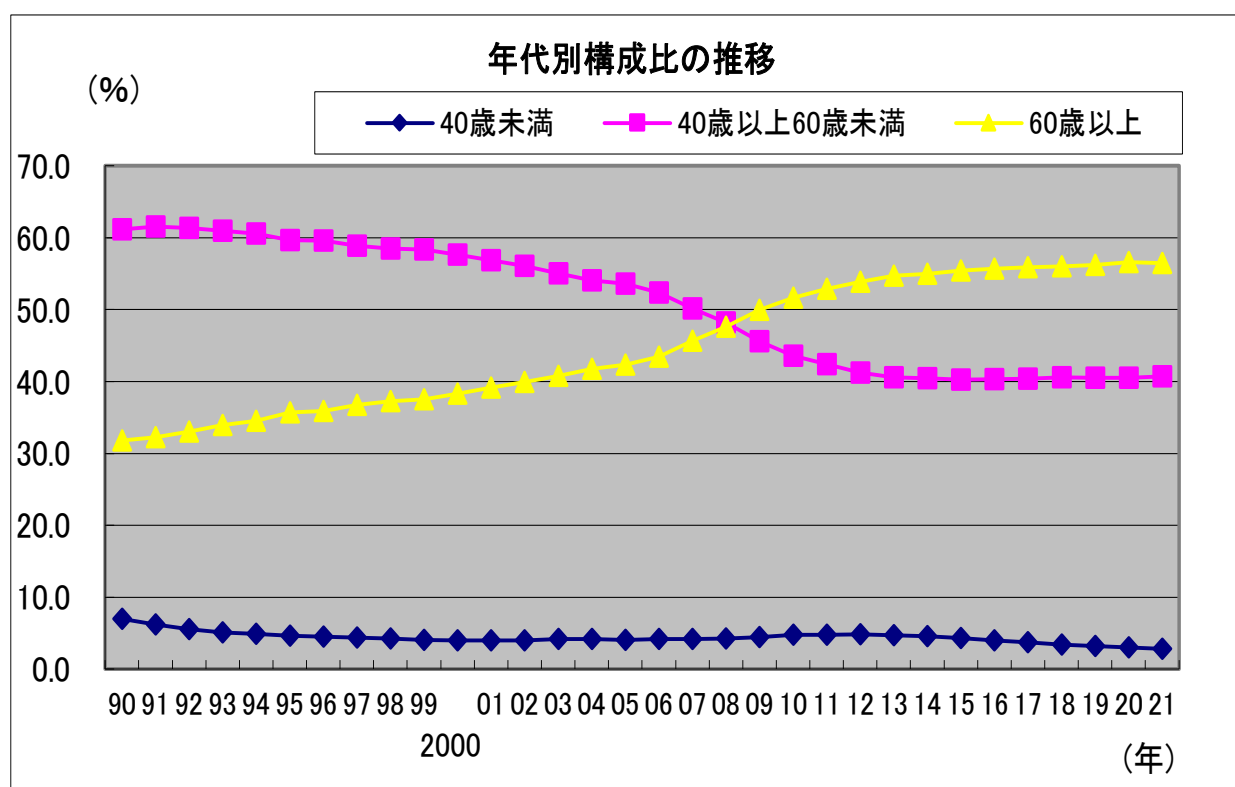
年代別の割合をみると、「60代」が構成比30.1%を占め最多となり、次いで「50代」が同25.2%、「70代」が同22.1%で続いた。また、2021年に社長が交代した企業の平均年齢変化を見ると、交代企業の平均年齢は交代前の69.3歳に対して交代後は52.3歳となり、交代による若返りは平均17.0歳となった。



2. 社長の年代別構成 ～「60歳以上」は1990年と比べて24.7ポイント増加

道内社長の年代別構成をみると、「40歳未満」が2.8%、「40歳以上60歳未満」が40.7%に対して「60歳以上」がもっとも多く、全体の56.5%を占めた。なお、70歳以上は全体の26.4%を占めた。

構成比の推移をみると、「40歳未満」は、90年の7.0%から2021年の2.8%へ4.2ポイントの減少。「40歳以上60歳未満」は、90年の61.2%から2021年は40.7%と20.5ポイントの大幅減少となっている。一方で「60歳以上」は、31.8%から2021年の56.5%へ24.7ポイントの大幅増加となっており、社長の高齢化が進行していることがわかる。



3. 業種別～平均年齢は不動産業が62.9歳で最高に

社長の平均年齢を業種別にみると、「不動産業」が62.9歳で最も高く、「建設業」（61.1歳）、「製造業」（61.9歳）、「卸売業」（62.0歳）、「小売業」（61.2歳）も全体の平均年齢を上回った。また、「その他」を除いた業種では「運輸・通信業」以外の6業種で「60代」が最多となった。

一方、平均年齢が最も低くなった「サービス」は60.2歳となり、他業種と比べて70代・80歳以上の割合が比較的低くなっている。

社長の平均年齢と年代構成比（業種別）

業種	(歳)								合計
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	
建設業	61.1	0.1	1.8	15.8	25.1	31.7	22.4	3.1	100.0
製造業	61.9	0.1	2.0	13.5	24.9	31.6	22.9	5.0	100.0
卸売業	62.0	0.1	2.1	13.4	25.2	29.7	24.9	4.6	100.0
小売業	61.2	0.1	3.1	16.7	24.1	27.8	22.8	5.4	100.0
運輸・通信業	60.7	0.3	2.5	13.7	30.9	27.5	21.0	4.1	100.0
サービス業	60.2	0.1	3.6	16.3	25.8	30.5	20.3	3.4	100.0
不動産業	62.9	0.1	3.4	13.7	21.4	27.5	24.4	9.5	100.0
その他	58.2	0.0	6.1	19.8	26.6	29.1	15.3	3.1	100.0
全体	61.1	0.1	2.7	15.5	25.2	30.1	22.1	4.3	100.0

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない、網掛けは全体平均を上回る数値

4. 年商規模別～年商1億円未満では70代と80歳以上の割合が高い

平均年齢を年商規模別にみると、「1億円未満」と「500億円以上」が62.1歳で最も高く、「100億円～500億円未満」（61.4歳）も全体の平均年齢を上回った。「1億円未満」では他の年商規模に比べ70代（24.9%）と80歳以上（5.5%）の割合が高くなった一方、「500億円以上」では50歳未満（8.6%）の割合が最も低くなった。

社長の平均年齢と年代構成比（年商規模別）

年商	(歳)								合計
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	
1億円未満	62.1	0.1	2.6	14.0	23.5	29.4	24.9	5.5	100.0
1億～10億円未満	59.8	0.1	3.1	17.8	27.3	29.5	19.2	3.0	100.0
10億～100億円未満	59.6	0.0	2.2	16.6	27.4	36.9	15.3	1.6	100.0
100億～500億円未満	61.4	0.0	2.2	6.5	23.4	55.4	10.9	1.6	100.0
500億円以上	62.1	0.0	0.0	8.6	20.0	57.1	11.4	2.9	100.0
全体	61.1	0.1	2.7	15.5	25.2	30.1	22.1	4.3	100.0

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない、網掛けは全体平均を上回る数値

5. まとめ

2021年の道内企業における社長の平均年齢は61.1歳と、1990年以来、31年連続の更新となり、全国を0.8歳上回った。企業の将来的な永続に向けては適切なタイミングでの事業承継が不可欠であるが、経営者の高齢化が進むなかで、事業承継を凶れずに休廃業・解散、倒産を余儀なくされるケースも見受けられる。早い時期からの後継者選定に向けた取り組みは経営者にとっての大きな課題といえる。

高齢化社会の進展のなかで、今後においても社長の平均年齢の上昇が続くものと思われるが、企業ののれんやブランド、ノウハウ、技術力、歴史を絶やさないためにも、円滑な事業承継に向けた取り組みが求められる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 札幌支店 担当：柳澤、篠塚、松田
TEL 011-272-3933 FAX 011-272-3934

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。